

## 「座間市大凧まつり」で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林2陸尉）は、5月5日（金）、相模川河川敷で開催された「座間市大凧まつり」において、募集相談員の協力を得て広報活動を実施した。

同まつりは、国の選択無形民俗文化財に指定され、2000年以上の歴史を誇る伝統行事として毎年10万人程の見物客で賑わう座間市の一大イベントである。

自衛隊ブースでは、迷彩服の試着体験や災害派遣活動のパネル展示を行い、親子で迷彩服を試着し記念撮影をする姿が見られるなど、大いに賑わいを見せた。

相模原地域事務所は、「今後も、地域に密着したイベントで広報活動を行い、自衛隊に対する親近感の醸成に努めていく」としている。

## 大学にて「自衛官職業紹介」を開催

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、5月10日（水）、専修大学生田キャンパス（川崎市多摩区）において、「自衛官職業紹介」を開催した。

同企画は、「自衛隊の仕事について詳しい説明を聞きたい」との学生の要望を聞いた就職担当者から直接依頼を受けて実施したもので、2年生を中心にの名の学生が参加した。

当日は、授業終了後の限られた時間ではあったが、自衛隊の任務や役割、仕事内容などを説明し、学生たちは熱心に聞き入っていた。

学生からは、「陸海空自衛隊のそれぞれの仕事内容が聞けて良かった」「自衛隊の手当の多さにびっくりした」などの声を聞くことができた。溝の口募集案内所は、「今後も、学校内での説明会を通じて、一人でも多くの学生に自衛隊の魅力ややりがいを発信していきたい」としている。



説明を熱心に聴講する学生たち

## 大学構内で募集広報を実施

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林2陸尉）は、5月14日（日）、神奈川県警察の採用試験が行われた青山学院大学（相模原キャンパス）において、試験を終えた受験生に対する募集広報を実施した。

当日は、募集相談員の協力を受け一丸となって受験生たちに声をかけ、それに応えるように多くの受験生たちが、快くダイレクトメールや募集用リーフレット等を受け取ってくれた。また、自衛隊にも関心のある学生が足を止め、広報官や募集相談員の説明に熱心に耳を傾ける場面もあった。募集相談員の精力的な活動もあり、今回用意した約1300枚のリーフレットもすべて配布し、募集相談員との結束力の強さも再認識することができた。

相模原地域事務所は、「今後も募集相談員と連携して、あらゆる機会を活用した募集広報を行い、募集成果に繋がっていきたく」としている。



募集広報に協力して頂いた  
募集相談員たち